

2011年1月1日～2022年6月30日の間に 当科において上部消化管内視鏡検査を 受けられた方及びご家族の方へ

「上部消化管内視鏡による病変サイズの予測に關与する因子の検討」への
ご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合内科学2	講師	谷川朋弘
研究分担者	川崎医科大学総合内科学2	教授	河本博文
	川崎医科大学総合内科学2	特任教授	春間 賢
	川崎医科大学総合内科学2	准教授	川中美和
	川崎医科大学総合内科学2	講師	末廣満彦
	川崎医科大学総合内科学2	講師	西野 謙
	川崎医科大学総合内科学2	講師	浦田矩代
	川崎医科大学総合内科学2	大学院生	石井克憲
	川崎医科大学総合内科学	臨床助教	河田真由子
	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	教授	眞部紀明
	川崎医科大学健康管理学	教授	鎌田智有
	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	准教授	藤田穰
	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	講師	綾木麻紀
	川崎医科大学健康管理学	講師	勝又 諒

1. 研究の概要

消化管の器質的病変の治療方針の決定には病変サイズを正確に診断することが重要です。しかし、内視鏡検査による病変サイズの測定は、内視鏡施行医が経験的に行っていることが多く、その正確性に対する報告は少ないのが現状です。今回、病変の内視鏡下観察による予測サイズとメジャー鉗子の計測値とを比較し、内視鏡経験数が評価の正確性に与える影響について検討を行うこととしました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年1月1日から2022年6月30日の期間に上部消化管内視鏡検査を受け病変を認めた患者で、メジャー鉗子で病変径を計測できている方を研究対象とします。

2) 研究期間

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において上部消化管内視鏡検査を受けられた方の上部消化管内視鏡画像を用いて、内視鏡画像のみから病変径の予測値を決め、メジャー鉗子を用いた実際の測定値を比較し、予測値と実測値の正診率や誤差率として測定精度の評価を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：患者年齢・性別、病変の部位・大きさ・内視鏡診断、血液検査・画像検査・身体所見データ 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合内学2教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 内科

氏名：谷川朋弘

電話：086-225-2111（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：t-tanikawa@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。